

宜 基 涉 第 18 号  
平 成 26 年 9 月 9 日

沖縄防衛局長  
井上 一徳 殿

宜野湾市長 佐喜眞 淳

米軍機による夜間騒音について（抗議・要請）

貴職におかれましては、平素より本市の基地問題解決にご理解とご協力を賜りお礼申し上げます。

普天間飛行場は、SACO合意から18年、沖縄国際大学への米軍ヘリ墜落事故から10年が経過した現在も本市のど真ん中に存在し続け、市民は、航空機事故の危険性や、航空機騒音をはじめとする基地負担を強いられ続けております。

本市は、普天間飛行場の5年以内の運用停止の実現や、騒音をはじめとする様々な基地負担について「普天間飛行場負担軽減推進会議」及び「負担軽減作業部会」等をとおし改善を求めており、市民への負担が大きい、外来機飛来及び夜間飛行の中止については、特に強く求めております。

しかしながら、米軍機による夜間騒音は改善されず、最近の航空機騒音測定調査結果では、日米間で合意された「航空機騒音規制措置」において運用が制限されている夜間10時を大きく超える深夜0時以降の航空機騒音も測定されております。

また、9月に入ってから騒音苦情は、8日現在で23件となっておりますが、うち、9件が深夜0時以降に寄せられており、夜間騒音がこれまで以上に深刻な状況となっていることは、政府の取り組む基地負担軽減にも逆行するものであり大変遺憾であります。

つきましては、普天間飛行場において激化し、市民の深刻な負担となっている米軍機による夜間飛行について、厳重に抗議するとともに、貴職から、米軍に対し夜間飛行の中止を強く申し入れていただくようお願い申し上げます。